

保健体育科 7年生 単元名『チームで協力してタイムを縮めよう：陸上競技（短距離走）』 授業実践・授業研修	
日時	5月30日（木）2時間目
授業者	富岡 宏健
本時のねらい	クラウチングスタートや加速区間の走り方を理解するとともに、仲間の動きを観察し、課題に応じてアドバイスする中で得た知識を、試そうとしている。
単元・題材計画	第1次 オリエンテーション・タイム計測……………1時間 第2次 クラウチングスタートを身に付ける……………2時間（本時 2/2） 第3次 中間疾走・フィニッシュの仕方を理解する……………2時間 第4次 単元のまとめ・タイム計測……………1時間
授業の実際 （本時の流れ）	（1） これまでの学びから、クラウチングスタートに必要な技能を振り返る。 （2） 20mの短距離で実践をする。 （3） 実践の中で、走者の「こういうところに意識して取り組んだ」という思いと、観察者の「こういうところは課題がある」というずれの解消を目指す中でよりよい走りの姿をめざす。 （4） 本時の学習での学びを整理し、中間疾走の学習へとつなげる。
事後協議の概要	本授業は、JICA のプロジェクトの一環として、タンザニアより視察団の訪問を受け入れています。特に、海外では体育が教科として位置づいていない地域もあることから、スポーツ指導と体育の境界が曖昧となっています。陸上競技クラブではない子供たちが専門的に学んでいる姿や子供たちが考え話し合っって学んでいる姿に影響を受け、自国でも紹介したいとの意見が出されました。

